

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名(三重県立飯南高等学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿	○地域とともに、自分らしくたくましく「生きる力」(対話力・追究力・創造力・発信力)を育成する学校
(2) 育みたい資質・能力 (育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	○学習、部活動、学校行事に積極的に取り組み、「生きる力」(対話力・追究力・創造力・発信力)を身につけた生徒 ○地域と連携した活動に積極的に参加し、自分らしさを発揮して地域や周囲の人の役に立てることを自己の喜びと感じられる生徒
ありたい 教職員の姿	○生徒を第一に考え、「生きる力」の育成のために、協力し、助け合いながら、生徒とともに成長し続ける教職員 ○生徒一人ひとりに寄り添い、丁寧に粘り強く関わることをとおして、優しい心や豊かな人間性を育むなど、心の成長を促す教職員 ○教科指導の改善や探究活動、キャリア教育に積極的に取り組む教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒>安全・安心で充実した高校生活を送り、「生きる力」を身につけ、自己の進路希望を実現したい。</p> <p><保護者等>キャリア教育を推進し、社会に適応し活躍できるようにしてほしい。</p> <p><地域>地域の高校として、地域と連携したキャリア教育をとおして生徒を育て、地域とともに活動する人材を育成してほしい。</p>	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><家庭> 授業、学校行事の様子など、学校情報の発信</p> <p><中学校> 入学者選抜に係る情報についての相互理解</p> <p><地域社会> 地域とともに活動する人材の育成、行事における協力や交流</p>	<p><家庭> 教育方針を理解のうえ、家庭でできる挨拶、コミュニケーションの実践</p> <p><中学校> 地域の高校としての現状を理解し、引き続き、連携の強化を積極的に推進</p> <p><地域社会> 地域の高校として、地域で学ぶ機会を増やすとともに、地域における就業機会が得られるよう支援</p>
(3)前年度の学校関係者評価など	<p>①【成果指標】「飯南高校で学ぶことに対して満足している生徒の割合を90%以上とする。」について、<u>生徒満足度89.1%</u> <u>保護者満足度73.4%</u></p> <p>②【成果指標】「対話力」「追究力」「創造力」「発信力」がついたと答えた生徒の割合を、それぞれの力について85%以上とする。」について、<u>「対話力」89.1%</u>、<u>「追究力」83.2%</u>、<u>「創造力」88.0%</u>、<u>「発信力」78.8%</u></p> <p>③学校運営協議会発案・参画の放課後「学びの場」(塾)を委員の持ち味を生かした内容に変更し、3回開催したが、参加生徒が少なかった。今後も社会とつながり、自立を支援する企画をし、意識づけをして参加を呼び掛ける。</p>	

(4)現状と課題	教育活動	① 年間の学びの集大成として、生徒は「いいなんゼミ」発表会において、自ら取り組んだ研究内容のプレゼンテーションを行っている。今後はより多くの生徒にとって、「自己の在り方・生き方と一体的で不可分な課題」に取り組めるよう発展させていくとともに、1、2年次から探究のスキルを身につけられるよう学習計画を整備する必要がある。 ② 「生徒の自己肯定感を高める取組」を一層進め、授業改善を進めるため、教職員間での「学び合い」の機会を継続的に設けていく必要がある。
	学校運営等	① 地域に根差したコミュニティ・スクールとして、地域住民や中学校等、多様な関係者と連携・協働し、生徒を育てる仕組みづくりの必要がある。 ② 特定の教職員で時間外労働が、多い傾向である。業務の分散等に工夫していくとともに、休暇の取得も呼びかけていく。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	① 生徒の自己肯定感を育み、自他の生命及び人権尊重の精神を育成するための人権教育を推進 ② 「地域とともに自分らしくたくましく『生きる力』を育成する」ため、地域と協働し、「地域を学び場とした探究活動」を推進 ③ 生徒が自ら学ぶ姿勢を育むとともに、学力の向上を図るため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進
学校運営等	① コミュニティ・スクールとして、生徒を中心とした教育の充実を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進 ② 社会で自立して生活できる力を育成できるよう、授業力向上の取組を推進 ③ 教職員が意欲的に業務に取り組み、やりがいを持って充実感を得られるよう、総勤務時間の縮減を推進

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	総合学科の学習活動を主体的、積極的、継続的かつ誠実に行える生徒
---------------------------------	---------------------------------

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	(1)生徒の自己肯定感を高めるために、対話を中心とした授業改善や学校づくりを推進する。 (2)基礎学力定着やソーシャルスキル育成のためのSHR学習(学びの時間)を行う。 (3)「学びの基礎診断」を実施し、生徒の学力の定着と向上を図る。 【活動指標】学びの時間で基礎学力の定着を行う。 (学年・教務) 【成果指標】飯南高校で学ぶことに対して満足している生徒の割合を90%以上とする。	(年度末および適宜記載)	※

生徒指導の充実	(1)基本的な生活習慣の確立をめざし、挨拶の励行と、 頭髪・服装指導を通じて身だしなみを整える。 (2)学校いじめ防止基本方針を踏まえ、いじめの未然防止、早期発見・対応に努める。 【活動指標】いじめアンケートを年3回以上実施する。 (生徒指導) 【成果指標】安心して学べた生徒の割合90%以上	(年度末および適宜記載)	※
キャリア教育の充実	(1)1年次の「産業社会と人間」、2年次の「キャリアデザイン」、3年次の「いいなんゼミ」等を通じて、生徒の得意を伸ばす活動を推進し、「生きる力」(対話力・追究力・創造力・発信力)を向上させる。 (2)中高連携や高大連携、社会人講師による授業など、多様で魅力的な学びの場を提供し、各系列の授業において地域と連携した学びの一層の充実を図る。 【活動指標】1年次の「産業社会と人間」で、地域と連携した学びの機会を年3回以上設ける。2年次では、地域の企業を中心にキャリアインターンシップを実施する。(進路指導) 【成果指標】「対話力」「追究力」「創造力」「発信力」がついたと答える生徒の割合を、それぞれ85%以上とする。	(年度末および適宜記載)	◎
人権教育の充実	(1)日々の関わりを通して、自他の考えを尊重し、多様性を認めあい、お互いを思いやることができる仲間づくりを行う。 (2)生命の尊厳を理解できる人権学習を進める。 【活動指標】人権講演会・性教育講演会をそれぞれ年1回以上実施する。(人権・保健) 【成果指標】「自分を大切に相手思いやり、人権を大切にできた」生徒の割合を、90%以上とする。	(年度末および適宜記載)	※
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	(1)授業改善等に係る教職員研修を実施する。 【活動指標】公開授業年2回以上、教職員研修年3回以上実施(ICT活用研修を含む) (2)学びの基礎診断のデータを活用し、3年間を見通した学力向上の取組を推進する。	(年度末および適宜記載)	◎

情報提供による信頼の構築	生徒の様子や地域と連携した取組の発信を行う。 【活動指標】 ホームページとインスタグラムの更新を月4回以上行う。(総務) 【成果指標】「ホームページや Instagram で情報を得ることができている」保護者の割合を85%以上とする。	(年度末および適宜記載)	※
働きやすい職場環境づくり	チームとして仕事に取り組む体制づくりを進め、総勤務時間の縮減を図る。 【活動指標】 ○設定した日の定時に退校できた教職員の割合「100%」 ○予定通り休養日を実施できた部活動の割合「100%」 ○放課後に開催し 60 分以内に終了した会議の割合「100%」 【成果指標】 ○時間外在校等時間が年 360 時間・月 45 時間を超える教職員数 「0 人」 ○1 人当たりの月平均時間外在校等時間「30 時間以下」 ○1 人当たりの年間休暇取得日数 「前年度比増」	(年度末および適宜記載)	※
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)